

# 「うちどく(家読)10(テン)」 家族で本のことを話そう!

可児市がすすめる「うちどく(家読)10(テン)」とは……

家族みんなで同じ本を読んだり、本について感想を話し合ったりする、家庭での読書をすすめる運動です。

お互いに本を教えあったり、読む本を相談したりすることで、家族のコミュニケーションが深まります。

子どもにとって大人に本を読んでもらう時間は、成長後もその子を支え続ける、至福の時間になります。

すばらしい本との出会いを、家族で共有する本の楽しさを、ぜひ子どもたちにプレゼントしてください。

★ 10(テン)にまつわる目標を決めてみましょう ★

- \* 家族で毎日本を10分以上読む!
- \* 家族あわせて1カ月で10冊以上読む!
- \* 1年間に一人10冊以上読む!

など、それぞれの家庭で、自由に決めてみてください。



## 「うちどく(家読)10(テン)」 おすすめの本コーナー へどうぞ



本館2階 親子閲覧室(絵本のコーナー)のつきあたりにあります。  
絵本のガイドブック、かにつ子だよりなどの図書館からのお知らせ、  
「こどものとも」などの月刊誌、季節のおすすめ本などを置いています。

左手に、絵本・子どもの本のガイドブックを置いています。

どんな絵本を見たらいいのか迷っている方、絵本の読み聞かせはどのようにすればいいか知りたい方は、ぜひこちらのコーナーの本をご利用ください。



右手に、季節のおすすめの本を置いています。

春・夏・秋・冬 それぞれの季節にあったテーマで、選んでいます。テーマは毎月1・2回のペースで変更します。



## 可児市発行「ラ・ン・タ・ン」にて 可児市立図書館の司書が おすすめの本を紹介しています

絵本や子ども向けの物語などを中心に、紹介しています。ぜひ読んでみてください。

↓「子どもとおとなのためのあそびとまなびの情報誌！ ラ・ン・タ・ン」第50号に掲載された本。



「うちとく(家読)10(デン)」  
＝推薦本紹介＝

提供：可児市立図書館



### はじめてのキャンプ

出版社：福音館書店 作：林 明子  
内容：大きい子たちと一緒にキャンプに行きたいなほちゃん。「ちっちゃい子はおもい荷物をもてない」「夜、くらいとこわがる」などと言われ、そんなことしない！と言い切ります。みんなに負けないようにがんばるなほちゃん、はじめてのキャンプはどうなるのかな？（小学校低学年から）

### 素数ゼミの謎

出版社：文藝春秋 著：吉村 仁  
内容：13年あるいは17年おきに大量発生する、変わったセミがアメリカにいる。なぜ13・17という素数の周期なのか？  
なぜこんなに長年かけて成虫になるのか？  
これには、セミが生き残るためのふか〜い知恵があったのだ！子どもから大人まで楽しめる、科学よみものです。（小学校高学年から）